

平成 29 年度

管理部の運営方針

<部の構成>

教育総務課、教育環境整備室、学校給食課

<担当事務>

- (1) 教育に関する事務の執行状況の点検・評価に関すること。
- (2) 教育委員会の会議に関すること。
- (3) 学校園の設置及び廃止に関すること。
- (4) 学校園施設及び用地の管理に関すること。
- (5) 学校園及び学校給食調理場に係る施設の新設並びに改良工事の計画及び調整に関すること。
- (6) 学校園等施設的环境整備に関すること。
- (7) 学校給食に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	155名
再任用職員	4名
任期付職員	2名
非常勤職員	208名
合計	369名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

管理部は、教育委員会及び教育委員会事務局の運営管理、並びに市立学校園の学習環境整備及び学校給食の実施を担っています。

平成 29 年度は、「学校園の安全対策」、「小中学校教育用 ICT 機器等整備事業」、「学校規模等の適正化の推進」、「枚方市学校施設整備計画における長寿命化改修事業」、「少人数教室等整備事業」、「学校トイレ改善事業」、「学校給食の充実」を重点施策として推進し、学びを支える教育環境の充実を図ります。

2. 重点施策・事業

(1) 学校園の安全対策

目標	小学校の校門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を防止するとともに、地域に開かれた学校としての管理運営体制を確保します。
取り組み	監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用に加え、人的配置を行い、児童の安全確保を図ります。
	平成 29 年度当初予算：32,085 千円

(2) 小中学校教育用 ICT 機器等の整備

目標	子どもたちの主体的・協働的な学びを進め、情報活用能力をさらに育むため、より効果的な教育用 ICT 機器の整備を推進します。
取り組み	小中学校のコンピュータ教室機器等の更新に合わせ、タブレット型パソコンを計画的に整備するとともに、専用サーバ設置や授業支援ソフトウェアなどの整備、教員の授業における ICT 活用を推進するため人的サポート体制も新たに整えます。また、第 1 次避難所に無線でインターネットに接続できる Wi-Fi 環境を整備します。
	平成 29 年度当初予算：150,373 千円

(3) 学校規模等の適正化の推進	
目標	将来の児童生徒数を見通した市立小中学校の規模や配置等の適正化を進めるため、昨年度実施したパブリックコメントを取りまとめ、学校規模等適正化基本方針を改定し、学校統合等に向けた取り組みを進めます。
取り組み	学校規模等適正化基本方針を改定し、高陵小学校と中宮北小学校の統合について保護者等に対する説明会等を実施し、適正化の具体的な取り組みを進めます。

(4) 枚方市学校施設整備計画における長寿命化改修事業	
目標	設計業務：香里小（平成 27～平成 29 年度）・第一中（平成 28～平成 30 年度） 桜丘小（平成 28～平成 29 年度）・津田中（平成 29～平成 31 年度） 樟葉小（平成 29～平成 31 年度） 仮設校舎建設：香里小、桜丘小 枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（後期）平成 33～平成 38 年度）」の策定
取り組み	「枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（前期）平成 27～平成 32 年度）」に基づき、「学校整備ワーキングチーム」での協議・検討を行った上で、「市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」などと整合しながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。また、平成 33 年度から実施予定の「枚方市学校施設整備計画（第 1 期実施計画（後期）平成 33～平成 38 年度）」の策定に向け対象校などの選定に係る検討を行い、また、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定に向けての検討を行います。
	平成 29 年度当初予算：83,480 千円

(5) 少人数教室等整備事業	
目標	枚方小学校・津田南小学校において少人数教室等整備工事を実施します。
取り組み	枚方小学校については、平成 30 年度から児童数の増加により教室が不足する過密校になると予測していることから、少人数教室 2 室と多目的教室 1 室、相談室 1 室を整備します。また、併せて管理棟西側の屋根増設等の整備を行い、集中下足室を設置します。 また、津田南小学校においても、平成 30 年度から児童数の増加により教室が不足することから、新たに少人数教室 2 教室とコンピュータ教室 1 室を整備します。また、児童の増加に伴い留守家庭児童会室においても保育室が不足することから、上記のコンピュータ教室を増床することで対応します。 なお、津田南小学校における教室の整備については、平成 34 年度に児童数が減少することから、リース方式（5 年間）により整備を行います。
	平成 29 年度当初予算：130,000 千円（枚方小学校）、18,062 千円（津田南小学校）

(6) 学校トイレ改善事業	
目標	<p>管理棟：小学校 9 校（山之上小、牧野小、春日小、菅原小、香陽小、殿山第一小、枚方第二小、中宮小、樟葉南小）中学校 2 校（枚方中、中宮中）</p> <p>教室棟：小学校 2 校（菅原小、氷室小）</p> <p>各棟 1 系列のトイレ改造工事を行います。</p>
取り組み	<p>児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、学校トイレ改修における基本方針を策定し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置など、「枚方市学校施設整備計画」や「市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。</p> <p>また、改修工事などの「ハード面」において快適になったトイレを継続して維持するために、使用方法や児童・生徒による日常清掃など「ソフト面」におけるトイレの環境整備について、教職員及び学校校務員を対象とした「学校トイレセミナー」を昨年度開催しましたが、引き続き「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めていきます。</p>
	平成 29 年度当初予算：492,000 千円

(7) 学校給食の充実	
目標	<p>中学校給食：選択制では今年度の目標喫食率 40%の確保をめざします。</p> <p>全員喫食の実現に向けた方向性を取りまとめます。</p> <p>小学校給食：調理場の老朽化対策として、効率的・効果的な整備を進めます。</p>
取り組み	<p>中学校給食について、選択制では目標喫食率確保に向けた取り組みを進めます。全員喫食の実現に向けては、実施手法や財源確保などの検討を進め、今後の方向性をまとめます。</p> <p>また、学校給食を安定的に提供できるよう、第三学校給食共同調理場の老朽化に伴う代替施設として既存の単独調理場 6 カ所の改築や長寿命化改修等に取り組むとともに、老朽化した香里小学校単独調理場の長寿命化改修を進めます。</p>
	平成 29 年度当初予算：28,368 千円

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、今後は、管理時間帯にかかわらず施設毎（体育館、運動場他）に施設開放事業を行うことを決定しました。また、引き続き、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討します。

改革課題	取り組み内容・目標
34. 学校規模等の適正化	学校規模等適正化基本方針を改定します。その後具体的な適正化実施プランを策定し適正化を進めていきます。
45-10・45-11・45-12・45-13. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（環境整備業務・学校園校務業務・学校給食調理業務・車両運転業務）	<p>環境整備業務・学校園校務業務については、教育環境整備室メンテナンスグループと学校校務員の一体化と学校園への一般職非常勤職員の配置及びその体制に必要な業務委託などの具体化を図るために、引き続き検討します。</p> <p>学校給食調理業務については、単独調理場について、ドライ方式への改修を行うとともに、委託化の取り組みを進め、効率的・効果的な学校給食調理業務の運用を図ります。</p> <p>車両運転業務については、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進めます。</p>

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
光熱水費の削減に向けたエネルギー調達	都市ガスの自由化を受けて、市立小中学校及び学校給食共同調理場のガス調達について、調査・検討を進めます。また、学校給食共同調理場の電力調達についても検討を進めます。
小学校給食共同調理場受配校における配膳員の配置	共同調理場からの受配校全 17 校に配膳員を配置することにより、衛生管理を徹底し、安全性の向上を図ります。

4. 予算編成・執行

- ◆平成 28 年度に引き続き、市立小中学校全 64 校の電力調達について、特定規模電気事業者（PPS）等を活用し経費の節減を図ります。
- ◆小中学校の ICT 機器等整備にあたり、第 1 次避難所となっている学校に公衆無線 LAN 環境整備支援事業補助金の活用を図ります。
- ◆学校園施設の改修にあたり、平成 28 年度に引き続き、国の学校施設環境改善交付金や大阪府補助金等の活用を図ります。

5. 組織運営・人材育成

- ◆管理部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。
- ◆学校施設の更新整備について、具体的な施設機能につき、先進市視察や企業が行う専門研修等に参加することにより、専門知識を有した人材の育成を図ります。

- ◆調理業務の応援体制の確保とともに、調理技術の継承やドライ運用の普及、職員の服務規律の確保を図る観点から、引き続き、単独調理場巡回応援職員を配置します。

6. 広報・情報発信

- ◆本市教育委員会の活動や学校園における学習環境の整備状況など、子どもたちの教育環境に関する情報を保護者や市民にわかりやすく提供します。
また、学校園の安全対策、学校規模等の適正化の推進、学校給食の充実などの取り組みについても、広報ひらかたやホームページへの掲載、FM ひらかたへの出演などより、市民にわかりやすい情報発信に努めます。
- ◆中学校給食について献立の特長や食物アレルギー情報、最新のトピックス等の情報を発信していくため、毎月の献立表をカラー写真入りで印刷し全生徒に配付します。
- ◆中学校給食のプロモーションビデオについて、各小中学校への配付、動画サイトへの掲載、保護者説明会や試食会での視聴に活用するなど、中学校給食のPRに努めます。
- ◆市制施行70周年記念事業「中学校 みんなで和食給食の日」を実施し、中学校給食を通して和食の素晴らしさを子どもたちに伝えるとともに、中学校給食のPRを行っていきます。